

都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

< 令和6年更新版 >



令和6年3月

 東京都教育委員会

はじめに

- 社会生活におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)による変化やグローバル化の加速、コロナ禍による多様な背景を持つ生徒の顕在化など、都立高校を取り巻く状況が一層複雑化・多様化する中、都立高校が直面する新たな課題を解決するとともに、都立高校の魅力向上を図るため、東京都教育委員会は、令和5年3月に「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム」を策定しました。
- 本プログラムでは、「自ら未来を切り拓く力の育成」「生徒目線に立った支援の充実」「質の高い教育を実現するための環境整備」の三つの方向性に沿って、令和4年度から令和6年度までの間、早期かつ集中的に実施する施策を取りまとめました。
- 本プログラム策定後、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、都内の至るところで多くの外国人旅行者の姿を目にするようになるなど、社会が本格的に回復の兆しを見せ始めています。こうした中、都立高校を取り巻く状況は一層複雑化・多様化しており、不登校生徒や日本語指導が必要な生徒への支援など、ポストコロナを迎えた今、時機を逸することなく子供の学びを後押ししていかなければなりません。
- こうした状況を踏まえ、東京都教育委員会は本プログラムの改善・充実を図るため、令和6年度に新たに実施する取組や拡充して実施する取組を反映した「都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム<令和6年更新版>」を策定しました。今後、同プログラムに基づき、豊かな国際感覚やデジタルリテラシーを備えた人材の育成、不登校やヤングケアラー等様々な困難を抱える生徒への支援など、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育の推進と未来の東京を担う人材の育成に向けて、着実に取組を進めます。皆様の一層の御理解、御支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

東京都教育委員会

目次

はじめに

第1部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラムの策定

- 1 実行プログラム<令和6年更新版>策定に当たっての背景 2
 - (1) 実行プログラム(令和5年3月)策定の背景 2
 - (2) 実行プログラム<令和6年更新版>の策定 3
- 2 実行プログラムの基本的な考え方 7

第2部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

- 実行プログラムにおける施策の体系 10
- I 自ら未来を切り拓く力の育成 11
 - 1 TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの推進 12
 - 2 教科「情報」の充実とITリテラシーの育成 14
 - 3 グローバル人材の育成に向けた使える英語力の強化 15・16
 - 4 国際交流・海外派遣の推進 15・18
 - 5 探究的な学びの充実 19
 - 6 進学指導体制の充実 20
 - 7 理数教育の充実 21
 - 8 「得意な才能」を伸ばす教育 22
 - 9 高大連携の推進 23
 - 10 体力の向上 25
 - 11 部活動の振興 26
 - 12 島しょにおける教育の充実 27
- II 生徒目線に立った支援の充実 28
 - 1 不登校生徒・中途退学者に対する支援 29
 - 2 ヤングケアラーに対する支援 33
 - 3 日本語指導が必要な生徒に対する支援 35
 - 4 都立高校における特別支援教育の充実 36
 - 5 ユースヘルスケアの推進 37
 - 6 保護者等の教育費負担の軽減 38

- III 質の高い教育を実現するための環境整備 39
 - 1 学校の魅力発信 40
 - 2 普通科の活性化 41
 - 3 専門学科(職業学科)の活性化 43
 - 4 総合学科の活性化 46
 - 5 理数等に関する学科の設置 47
 - 6 定時制課程の改善・充実 48
 - 7 通信制課程の改善・充実 50
 - 8 入学者選抜の改善 51
 - 9 カーボンハーフに向けた取組の充実 52
 - 10 教員の資質・能力の向上 53
 - 11 教員確保策の更なる充実 55
 - 12 働き方改革の推進 56

第3部 令和7年度以降に向けて

- 1 実行プログラムの検証 60
- 2 実行プログラム後の方向性 61